

令和5年度骨粗しょう症疾患啓発事業の報告について

1 はじめに

令和4年12月、アムジェン株式会社（※1）、株式会社キャンサーズキャン（※2）、恵庭市の3者でコモンズ協定（※3）を締結し、令和5年度に官民連携事業として恵庭市の金銭的負担等を伴わず、骨粗しょう症疾患啓発事業を実施

（令和5年3月9日 厚生消防常任委員会で事業開始を報告）

※1 アムジェン株式会社：世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業である米国アムジェン社の日本法人。薬剤等の臨床開発から販売までの活動を行う

※2 株式会社キャンサーズキャン：予防医療のデータ分析等を行う事業者。多くの自治体や国保連合会等と連携し、事業を実施。昨年度、第3期データヘルス計画等策定時に北海道国保連合会と連携しデータ分析等を行う

※3 コモンズ協定：3者で協定を締結し、事業を行う官民連携モデル。このモデルにおいては社会貢献等を目的としてアムジェン株式会社が費用を負担し、株式会社キャンサーズキャンがデータ分析等の事務作業を行うことで、恵庭市は金銭的負担等を伴わず、事業を実施

2 事業内容

脆弱性骨折を経験した人は、骨粗しょう症による二次骨折を繰り返すリスクが高く、フレイルにつながる可能性があることから、受診勧奨を行う

【対象者の要件】

- (1) 保険要件：「恵庭市国民健康保険（40歳以上）」または「後期高齢者医療制度（恵庭市在住）」の加入者
- (2) 傷病要件：「大腿骨付近部」または「椎体」の脆弱性骨折の既往あり
- (3) 状況要件：骨粗しょう症の「治療なし」または「直近6か月で治療なし」など

【実施方法】

- (1) 令和5年3月31日および5月19日に骨粗しょう症の受診勧奨通知を送付
- (2) 4月から9月のレセプトから事業効果を検証

3 実施結果

- ・ 合 計： 勧奨者数 104 人、受診者数 35 人、受診率 33.65%

【内 訳】

- 男 性： 勧奨者数 38 人、受診者数 9 人、受診率 23.68%
- 女 性： 勧奨者数 66 人、受診者数 26 人、受診率 39.39%

※ 男性の受診率と比較し、女性の受診率が高い結果となった

- ・ 市ホームページに報告書を掲載（別添資料、報告書（概要版）参照）

4 まとめ

- ・ 官民連携事業により、市民へ骨粗しょう症について啓発することができた
- ・ 今後、一体的実施事業において骨粗しょう症を含め広くフレイルの予防を推進
 - ※ プレミアム健康度チェック（ポピュレーションアプローチ）において、理学療法士による骨密度測定と説明、必要に応じ受診勧奨、栄養指導等を実施